

派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2020年度
オンライン留学先国	台湾
オンライン留学先大学	国立台湾大学
プログラム開始日	2020年9月14日
プログラム終了日	2021年1月15日
今回の留学にかかった費用	0
留学の目的とその達成度合	<ul style="list-style-type: none"> ・渡航が可能になったときに、現地の授業についていけるようにするため。 ・渡航が可能になるまでの代替手段として。
留学を通して得たもの（スキル、経験）	スピーキング能力は、日常的に台湾人と話す機会がなかったため、あまり上達しなかった。一方で、リスニングに関しては、現地留学ほどではないと思うが、オンライン留学前より上達したと実感した。
留学先大学への支払い方法	-
履修した科目	国際生華語
授業内容	<p>〔授業内容〕<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>留学生向けの中国語の授業（基礎編）。日常的な単語から、文法まで習う。<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>正規留学生は入国可能であったため、現地で普通に対面式の授業が行われていて、そこにSkypeをつないでやる形だった。</p> <p>入国できていない交換留学生の私とドイツ人留学生の二人だけ自国から参加する形だった。<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>〔使用したツール〕</p> <p>PC (Skype)</p>
授業の開講時間および現地時間との時差	<p>火木19:25~22:05（時差1時間）（50分×3コマ）<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>私は就活の予定が昼間に入ることを想定して、夜の授業があったので、それを選択した。昼間の授業ももちろんあり、授業内容は同様である。昼は月水金の週三回で、それぞれ90分×2コマだった。</p>
外大の授業との両立について	<p>外大の授業を2コマ、留学先の授業を6コマ（1コマ50分）履修。<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>留学に行けなくなることを見据えて就活も同時並行で行っていたため、外大も台湾大もあまりコマ数が多くならないようにした。オンライン授業の質や実態がわからなかったため、台湾大の受講科目数は一つにした。<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>留学先の課題はそれほど多くないが小テストやまとめテストが多かった。しかし、両立できるように外大も台湾大もボリュームを抑えていたため、困ることはなかった。</p>
授業内容やプログラム全体に対する感想	<p>台湾では普通に対面の授業が行われていたため、現地の授業にSkypeをつなげて授業をするという形だと、教室の雰囲気や生徒・教師の表情がわからず、かなりやりにくかったのが本音である。Skypeのカメラは終始黒板に向けられていて、入国できていない私とドイツ人の学生は孤立しているような感じがした。<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>授業の質に関しては、とてもよかった。実際に単語や文法を使って、自分で文を作って発言していくスタイルなので、用法が理解できるし、定着率も上がった。<input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p>
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	上記のような機会はなかった
交流活動の具体的内容	-
プログラムに対する満足度（10段階：低1～高10）	5
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）	<p>オンライン留学だと、メールでのやりとりになるため、少しでもわからないところがあったときに、直接担当者に聞きに行けないのが困った。體的には、履修登録の方法と台湾大専用のメールである。<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>①履修登録に関しては、やり方をよく見て、手順通りに進められれば問題ない。外大と違って、何回か履修修正期間があるので、もし気に入らなかつたら履修をやめることも可能である。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>台湾大学専用メールに関しては、メールのページがどこにあるのか全然見つからず、授業前日までどのように受けるかわからず困った。「MyNTU」と調べればEMailがあるので、そこから授業の受講方法が見れるようになっていた。<input checked="" type="checkbox"/></p>
今後の予定について教えてください。	派遣（交換）留学プログラム終了
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。	-
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど	<p>「オンライン留学」と一口にいてもそのやり方は様々です。言語能力や異文化に触れ、その地域の価値観に触れるという点で、オンライン留学は現地留学にかなわないと私は感じています。もし、現地への派遣留学の可能性を捨てたくないのであれば、現地渡航が可能になるまで、オンライン留学を受講する手もありだと思います。正直、ずっと目標だった留学が急に不可能になって、悔しい気持ちでいっぱいです。オンライン留学を決意した皆さん、不安な気持ちはよくわかります。それでも、自己成長のチャンスだと思ってぜひ頑張ってください！</p>

派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2021年度
オンライン留学先国	台湾
オンライン留学先大学	国立台湾大学
プログラム開始日	2021年9月1日
プログラム終了日	2022年1月14日
今回の留学にかかった費用	10000円
留学の目的とその達成度合	中国語力の向上と台湾について理解するため。☑ 外大の授業よりも少人数であるため発言量も多かった。そのため、以前よりは語学力が上がったと思うが、実際に渡航して授業を受ける場合と比べるとそこまで高くはないと思う。
留学を通して得たもの（スキル、経験）	オンラインでは相手の気持ちを読み取りにくいのでしっかりと自分の意見を言うよう心掛けるようになった。
留学先大学への支払い方法	0
履修した科目	中国語会話☑ 台湾語☑ International Companions Learning☑ 戦後台湾民主運動史（聴講）
授業内容	中国語会話：WebExを使用。教科書と先生が作成したパワーポイントを使って語彙や文法の学習とディスカッションなどを行った。☑ 台湾語：GoogleMeetを使用。オンラインのため教科書の写真を毎週先生がオンライン受講者にメールで配布。オンライン受講者は授業の様子をただ見ているだけに等しい。課題は教科書の本文を録音して提出するが、添削はなく何が正しいのかわからないままだった。また、教科書の音源は日本で開けない形式のファイルであり、毎週TAに個別で連絡をとって入手していた。☑ International Companions Learning：台湾の大学生と留学生がペアになって台湾の中学生複数人と英語で交流するもの。Skypeを使用。毎週テーマを決めてパワーポイントを作成した。現地にいれば学期の最後に中学校へ遊びに行くプログラムがあるが、オンライン受講のため不可。☑ 戦後台湾民主運動史（聴講）：GoogleMeetを使用。レジュメをみつつパワーポイントを利用して授業が行われた。オンライン受講は私一人だったが手厚いサポートだった。
授業の開講時間および現地時間との時差	9:10-11:00（時差1H）☑ 16:30-18:30（時差1H）☑ 15:20-18:20（時差1H）☑ 12:00-12:50（時差1H）
外大の授業との両立について	外大の授業を3コマ、留学先の授業を6コマ（110分×4、180分×1、50分×1）履修。
授業内容やプログラム全体に対する感想	担当の先生によってオンライン受講の質がバラバラであったため、オンラインでも満足度の高いものもあれば、受講するのが大変でモチベーションがなくなるものもあった。☑ 渡航してクラスメイトと一緒に教室で勉強できないのはとても残念だったが良い経験になったと思う。
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	上記のような機会はなかった
交流活動の具体的内容	0
プログラムに対する満足度 （10段階：低1～高10）	7
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）	外語祭実行委員会に所属しているため、外語祭期間中も授業や中間テストと両立させることは体力的にもとても大変でした。
今後の予定について教えてください。	派遣（交換）留学プログラム終了
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。	0
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど	外大の授業を少しでも取っておかないと人と話す機会が激減するので、オンライン留学のみに絞らない方がいいかもしれません。また、オンラインで受講できる授業には限りがあるので気をつけてください。